

第8回 宅地開発における無電柱化の実効性ある推進方策検討会 議事概要

【日時・場所】

(日時) 令和8年1月23日(金) 15:30～17:00

(場所) オンライン開催

【議事要旨】

(1) 「(仮称) 東京における宅地開発の無電柱化の推進に関する条例」について

(2) 宅地開発無電柱化のコスト縮減の取組について

- ・資料について事務局から説明し、意見交換した。
- ・委員からの意見は以下のとおり。
 - 規制区域は、東京都東側から段階的に拡大し、最終的に都内全域を対象とする方針を持って制度導入するため、その方向性を明確に周知した上で、規制区域外でも先行的に無電柱化へ取り組む機運を高めるよう、積極的な情報発信や働きかけを行うべきである。
 - コスト縮減について、小規模開発で重車両が通行することがない道路という前提条件なので、考え方によってはより良い方法が今後も出てくると考えている。国土交通省の無電柱化推進のあり方検討委員会でも、側溝配線などの簡易な新手法を活用すること等を議論している。現在の方向で順次低コストという方向にもっていけば、DX化も相まって人件費高騰への対応も可能であると考えている。
 - 東京都が検討する標準モデルは、導入コストの縮減だけを目的とするものではなく、安全性や維持管理、手法・材料の適正化など多面的な視点を踏まえ、適正な価格と機能を確保できる方法として示していただきたい。

(3) 今後の予定について

- 標準モデルの作成やそれを活用したコスト低減、気運醸成について、委員の助言を踏まえつつ、財政的支援と条例による規制の両面から無電柱化の推進に取り組んでいく。
- 条例は、来月開会する令和8年第一回都議会定例会に条例案を提出し、議決後に半年程度の周知期間を設けたうえで、秋頃の施行を予定している。